

アラスカ半島沖Patton Seamountで採取された海底コアにおけるDawson tephraの発見

Dawson Tephra in the sedimentary core collected at the Patton Seamount, off the Alaska Peninsula

*青木 かおり¹

*Kaori Aoki¹

1. 立正大学

1. Rissho University

筆者は2009年にSO202-INOPEX航海でアラスカ半島沖のPatton Seamountで採取されたジャイアントボックスコア試料SO202-27-6中に介在するテフラについて報告する。コア試料SO202-27-6は北東太平洋54°17.77' N, 149°36.01' Wの水深2919m, Patton Seamount上で採取されたコア長は2.92mの遠洋性軟泥堆積物である。2層の明瞭なテフラ層が確認されており、上位（深度119-122cm; ID93, ID94）は2ヶ所から試料を採取し、下位（深度135-138cm; ID95）は薄いテフラ層である。ID93は最大粒径3mm程度で良く淘汰された白色～灰色の火山灰で、堆積相は級化構造が観察され、最大粒径9mm程度の石質岩片が含まれる。ID95は細粒の火山ガラスを含むが全体的に極めて砂質である。

電子プローブマイクロアナライザー（EPMA）で得られたID93の火山ガラスの主元素組成は流紋岩質で、Mangan et al.(2003)に掲載されたDawson tephra (ca.27 ka)と極めて酷似する。また、ID93についてガラスビード法で蛍光X線分析による元素分析を行ったところ、Mangan et al.(2003)の軽石の全岩主元素組成とも良く似る。

Dawson tephraはこれまでアラスカ半島南西部のEmmons Lake volcanoを給源とする最終氷期最寒期における最大の広域テフラの一つで、ユーコン準州西部～中央部のレス堆積物中で確認される。海洋域におけるDawson tephraの発見は本報告が初めてである。

Mangan et al. (2003), Emmons Lake Volcanic Center, Alaska Peninsula: source of the later Wisconsin Dawson tephra, Yukon Territory, Canada. Canadian Journal of Earth Science, 40, 925-936.

キーワード：ドーソンテフラ、アラスカ半島、海底コア

Keywords: Dawson tephra, the Alaska Peninsula, sedimentary core